

日本農芸化学会東北支部 平成 19 年度第 2 回評議会 議事次第

平成 19 年 11 月 10 日 (土) 12:10～12:50

於：東北大学農学部・第 4 講義室

議事

1. 本部理事会報告 (平支部長)
2. 支部庶務関係協議事項 (木村幹事)
 - 1) 前回評議会議事録(案)
 - 2) 支部評議員の交替と支部体制について (資料 1)
 - 3) 平成 19・20 年度支部行事予定
(牛乳市民講座の支部共催について)
 - 4) 2007 年度東北支部奨励賞・若手奨励賞
 - 5) その他
・若手の会への補助について
3. 会計報告 (伊藤幹事・木村幹事)
 - 1) 平成 20 年度支出案 (資料 2)
4. その他

1) 本部理事会報告

第 298 回 理事会報告 (2007 年 10 月 16 日 学会館本館にて)

1-1) 庶務関係

- ① (財) 日本農学会「平成 19 年度・第 6 回・日本農学進歩賞」 大西康夫 (東大農) 氏授賞
- ② 日本農学会の農芸化学会から 2 名の評議員 (2 年 2 期まで) が投票権をもつように規則一部改正
- ③ 磯貝会長が 2009 年つくばで開催予定の生物オリンピックの委員会委員に就任
- ④ 名簿: WEB による名簿発行の検討について名簿は冊子体の代わりに、WEB システムにすることになった (庶務担当 長澤先生)。会員のデータベースと公開用のデータベースは別である。今年度は WEB 本体のデータベースを作る予定である。支部会員の名簿については、管理はすべて本部で行い、支部会員のデータベースを本部から頂くことにする。予算は、名簿システムの基本機能の構築、既存会員への通知 (郵送通知と郵送通知)、入力作業、サーバー運用費等を含め、300 万円程度。

1-2) 広報委員会

第 7 回日本農芸化学会・三省堂サイエンスカフェ (京都) と第 17 回三省堂サイエンスカフェ 日本農芸化学会シリーズ (5) (東京) 開催についての報告

1-3) 和文誌編集委員会

「化学と生物」の記事を発行 1 年後に掲載し、著者のみがダウンロードできる。

1-4) 微生物連合との交流について

日本微生物学連盟の加入について、第 20 期日本学術会議の野本明男委員長より、加入の願いがあり、日本農芸化学会として加入することが承認された。なお委員の人選は磯貝会長にまかせる。2011 年札幌で開催予定の IUMS Sapporo (会長、富田房雄先生) の準備もある。

1-5) 会計関係

来年度予算案について、

- ・ 一般会計: 会費収入は昨年なみである。本年度大会の繰越金 (1800 万円) は収入としていれる。支出は昨年並みであるが、紙代が 20% 増しになるので、210 万円増になることが報告了承された。
- ・ 鈴木奨学金藪田基金特別会計も報告了承された。
- ・ 2007 年度大会特別会計についても今年から報告され、了承された。今年の大会は会場費がなかったことと、懇親会費が抑えられたため、1829 万円ほどの繰越金が出た。

1-6) その他

各支部の会員若手研究者 (学生を含む) の表彰について、各支部の条件等の報告がなされた。授賞の要件については各支部に任せてあり、統一的な基準はない。各支部の独自の予算で、独自の選考基準で進めて欲しい。本部としては積極的に進めることを願う。また支部会の若手奨励賞受賞者を本部の WEB に掲載したい意向である。

2-1) 前回議事録 (案)

日本農芸化学会東北支部平成19年度第1回評議会 議事録 (案)

平成19年7月14日 11:00~12:00 於: 秋田県立大学・生物資源科学部・

大学院棟1階 セミナー室2

出席者 (◎○代議員、評議員、敬称略)

(青森) ○片方陽太郎、姫野俵太

(秋田) ◎小嶋郁夫、山本好和

(岩手) 平 秀晴

(山形) 佐々武史、三橋 渉

(宮城) ○駒井三千夫、○草野友延、宮澤陽夫、遠藤銀朗

(福島) 無し

(支部関係): 平 秀晴 (支部長)、木村賢一 (庶務)、伊藤芳明 (会計)

配布資料: 議事次第、支部関係資料

議事

1. 本部理事会報告 (平支部長)

第296回理事会 (2007年5月28日) について報告された。

- 1) 会員 (2007.3.15現在、合計12,724、前回理事会との差278減)
- 2) 終身会員の推薦 (室伏 旭氏、山崎信行氏、千葉誠哉氏、折谷隆之氏、岩村 俣氏、佐々木隆造氏)
- 3) 広報委員会: 農芸化学サイエンスカフェの開催
- 4) 2007年度事業計画: 本部と支部の連携強化
- 5) 日本微生物学連盟 (FMS Japan) 加入のお願い
- 6) 日本農学会80年史各論執筆のお願い
- 7) 日本農芸化学会2008年度大会概要:
2008年3月26日 (水) ~29日 (土)、名城大学天白キャンパス

2. 支部庶務関係協議事項 (木村)

- 1) 前回議事録が説明され、承認された。
- 2) 支部代議員、支部評議員の交替について説明され、承認された。
退任 茅野充男先生、黒澤辰一先生、鈴木昭憲先生、室伏 旭先生、柳 園江先生
(秋田県立大学)
推薦 岡野桂樹先生、田母神 繁先生、服部浩之先生、吉澤結子先生 (秋田県立大学)
伊藤菊一先生 (岩手大)、渡辺宜明先生 (トーアエイヨー)
- 3) 平成19・20年度支部行事予定が説明され、承認された。
- 4) 2007年度東北支部奨励賞・若手奨励賞の応募について説明された。
- 5) 支部体制について説明され、承認された。
- 6) その他
平成19年度 JABEE 農学系分野審査講習会と新しい支部ホームページアドレス
(<http://news7al.atm.iwate-u.ac.jp/%7Eouseika/noukaGK/>) について報告された。

3. 会計報告 (伊藤、木村)

- 1) 平成18年度決算報告が説明された後、監査報告され承認された。
- 2) 平成19年度予算案が説明され、承認された。

2-2) 支部評議員の交替と支部体制について (資料1)

退任 鈴木和郎 (一ノ蔵)、薄木理一郎 (尚絅学院大学)
推薦 坪田康信 (一ノ蔵)

(参考)

○評議員資格について

- ・大学等研究機関にて停年となられても、非常勤講師等でご活躍の場合は引き続き評議員をお続け頂く。特別な事情がある場合は、その都度協議する。

○代議員・代議員会議制度

- ・代議員：任期2年、各県から互選する。評議会出席旅費の一部を支給する。
定員：【青森・岩手・山形】各2名、【秋田】1名【宮城・福島】6名 [計13名]
- ・評議会をもって支部活動の最高意志決定機関とする。但し、迅速な判断を要する議題等については、電子メール等を利用した代議員会議で決定することが出来る。

2-3) 平成19・20年度支部行事予定

・平成19年度 日本農芸化学会東北支部シンポジウム「二次代謝産物生合成研究の新展開」

世話人：山本好和 (秋田県立大学生物資源科学部)
日時：7月14日(土) 12:20~16:30
会場：秋田県立大学生物資源科学部 (秋田キャンパス)
参加者：70名

・日本農芸化学会東北支部第8回若手シンポジウム

世話人：清田洋正 (東北大学)
日時：11月9-10日 (金・土)、15:00~翌朝9:00
会場：松島、「旅館 光」
シンポジウム、支部若手奨励賞受賞講演、ポスターセッションおよび交流会

・日本農芸化学会東北支部第142回大会

世話人：伊藤義文 (東北大学)
日時：11月10日 (土)、10:30~17:35
会場：東北大学農学部
一般講演、支部評議会、支部活動報告会、支部奨励賞・若手奨励賞授賞式、支部奨励賞受賞講演、特別講演：一島英治 (東北大学名誉教授・東京農工大学名誉教授)・「国 菌・麴 菌」

・平成19年度 日本農芸化学会東北支部市民フォーラム

世話人：長澤孝志 (岩手大学農学部)
日時：平成19年12月8日 (土) 午後2時~4時
場所：岩手大学図書館、生涯学習・多目的学習室 (2階)
市民フォーラム「食品とメタボリックシンドローム」
講演者・演題
佐藤隆一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)・
「コレステロールの“品格”が問われる時代の食の重要性」
宮澤陽夫 (東北大学大学院農学研究科教授)・
「健康食としての日本食」

・日本酪農科学会、牛乳市民講座（共催）

世話人：齋藤忠夫（東北大学大学院農学研究科）

日時：平成20年 1月26日（土）午後1時～3時40分（予定）

場所：仙台国際センター（300名の会場）

牛乳市民講座「牛乳・乳製品と健康」

内容

1. 基調講演

石田光晴（宮城大学教授）・30分・「牛乳について」

齋藤忠夫（東北大学大学院農学研究科教授）・30分「乳製品について」

2. パネルディスカッション（90分）

コーディネーター：齋藤忠夫、石田光晴、駒井三千夫、長沢由紀子、
小児科の先生、栄養士の先生

・平成20年度 日本農芸化学会東北支部シンポジウム

世話人：（山形県）

・平成20年度 日本農芸化学会東北支部大会

世話人：（青森県）

・平成20年度 日本農芸化学会東北支部市民フォーラム

世話人：（宮城県）

2-4) 2007年度東北支部奨励賞・若手奨励賞

選考委員会（委員長 平 支部長）は、本年度の支部奨励賞・若手奨励賞に以下の諸氏を決定した。

◎2007年度日本農芸化学会東北支部奨励賞（2件）

塩野義人氏 「植物体から分離した菌類を用いた新規生理活性物質の探索研究」

稲葉丈人氏 「葉緑体へのタンパク質輸送の分子機構と低温応答におけるその意義」

◎2007年度日本農芸化学会東北支部若手奨励賞（1件）

中畑 崇氏 「特異な環構造を有する生物活性天然物の全合成研究」

2-5) 平成20年度本部代議員候補者推薦

姫野俵太（弘前大）、宮入一夫（弘前大）、岡野桂樹（秋田県立大）、伊藤菊一（岩手大）、

木村賢一（岩手大）、五十嵐喜治（山形大）、村山哲也（山形大）、池田郁男（東北大）、

桑原重文、（東北大）、広井 勝（郡山女子大）

【青森・岩手・山形】各2名、【秋田】1名【宮城・福島】3名 [計10名推薦]

2-6) その他

・日本農芸化学会東北支部第8回若手シンポジウムに、支部大会への発表者の学生補助予算の余りを補助する。

・支部ホームページアドレス (<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/%7Eouseika/noukaGK/>)

平成 19 年度日本農芸化学会東北支部役員・支部評議員（敬称略）

（◎印：代議員兼各県連絡員、○印：代議員；任期は平成 19 年度まで）

◆支部長 平 秀晴（岩手大、任期は平成 20 年度まで）

◆支部幹事（4 名、任期は平成 20 年度まで）

木村賢一（庶務：岩手大）、三浦 靖（庶務：岩手大）、伊藤芳明（会計：岩手大）、

山下哲郎（会員：岩手大）

◆支部評議員（101 名）

【元支部長（11 名）】

足立 達、伊崎和夫、勝又悌三、神尾好是、佐々武史、志村憲助、中島 佑、松田和雄、山下恭平、
宮澤陽夫、安元 健

【青森県（11 名）】

大町鉄雄（弘前大）

姫野俵太（弘前大）

加藤陽治（弘前大）

宮入一夫（弘前大）◎

戸羽隆宏（弘前大）

片方陽太郎（弘前大）○

奥田慎一（八戸工業大）

山岸辰則（八戸高専）

松江 一（青森県立保健大学）

打田悌治（かねさ（株））

橋本 勝（弘前大）

【秋田県（14 名）】

岩野君夫（秋田県立大）

岡野 桂樹（秋田県立大）

小嶋郁夫（秋田県立大）◎

田母神 繁（秋田県立大）

中村保典（秋田県立大）

野間正名（秋田県立大）

服部 浩之（秋田県立大）

吉澤 結子（秋田県立大）

山本好和（秋田県立大）

伊藤雄太郎（両関酒造）

秋山美展（県総合食品研究所）

小玉真一郎（小玉醸造）

今野 宏（秋田今野商店）

奥野智旦（秋田看護福祉大）

【岩手県（12 名）】

磯部公安（岩手大）○

伊藤菊一（岩手大）

小野伴忠（岩手大）

菅原悦子（岩手大）

平 秀晴（岩手大）

堤 賢一（岩手大）

西澤直行（岩手大）

長澤孝志（岩手大）◎

千葉俊之（県立盛岡短大）

小濱恵子（県工業技術セ）

城戸良悦（喜久盛酒造）

金野範行（酔仙酒造）

【山形県（13 名）】

五十嵐喜治（山形大）○

上木厚子（山形大）

上木勝司（山形大）

岡田勝英（山形大）

小野寺準一（山形大）

村山哲也（山形大）

佐々武史（山形大・前出）

丹野憲昭（山形大）

貫名 学（山形大）◎

三橋 涉（山形大）

石田哲夫（米沢女子短大）

山田則子（米沢女子短大）

和田多聞（和田酒造）

【宮城県（38 名）】

上田 実（東北大）

大島泰克（東北大）

伊藤義文（東北大）

勝亦瞭一（東北大）○

神尾好是（尚絅学院大・前出）

草野友延（東北大）○

桑原重文（東北大）○

熊谷 泉（東北大）

駒井三千夫（東北大）○

佐藤 實（東北大）

五味勝也（東北大）

斎藤忠夫（東北大）

池田郁男（東北大）

須山亭三（仙台大）

津田雅孝（東北大）

宮澤陽夫（東北大・前出）

西野徳三（東北生活文化大）

西森克彦（東北大）

山谷知行（東北大）

前 忠彦（東北大）

南澤 究（東北大）

日向康吉（東北大）

村本光二（東北大）

山下まり（東北大）◎

目黒 熙（東北福祉大）

内田隆史（東北大）

有本博一（東北大）

遠藤銀朗（東北学院大）

鈴木建夫（宮城大）○

石原弘章（東北学院大）

小村 毅（仙台白百合短大）

大澤啓助（東北薬科大）

荒谷幸夫（ニッカウキスキー）

溝田幸和（キリンビール）

遠藤勝之（仙台味噌醤油）

坪田康信（一ノ蔵）

池田博一（サッポロビール）

【福島県（5 名）】

広井 勝（郡山女子大）

関口武司（いわき明星大）

渡辺宜明（トーアエイヨー）

高橋栄作（呉羽化学工業）

藤本健四郎（郡山女子大）

資料 2

平成20年度支出(案)

会計担当幹事: 伊藤芳明

支出費目	予算額(円)
事務費、データ管理システム費	100,000
通信連絡費	100,000
印刷費	100,000
旅費	350,000
会議費	100,000
支部シンポジウム費(山形県)	450,000
若手シンポジウム費(青森県)	150,000
支部大会費(青森県)	750,000 (内 300,000 円は学生支援費)
市民フォーラム費(宮城県)	300,000
合計	2,400,000